

# 二条城の今と昔



制作：元離宮二条城事務所

# 二条城の年表

1601年	(慶長6年)	徳川家康、二条城の造営に着手。
1603年	(慶長8年)	二条城竣工。家康入城。
1624年	(寛永元年)	二条城の改修に着手。
1626年	(寛永3年)	二条城の改修が完成。後水尾天皇の行幸。
1750年	(寛延3年)	雷火により五層の天守焼失。
1788年	(天明8年)	市中大火により本丸御殿などが焼失。
1867年	(慶応3年)	徳川慶喜、二条城で大政奉還の決意を発表。
1868年	(明治元年)	二条城内に太政官代を置く。
1871年	(明治4年)	二条城内に京都府庁を置く。
1884年	(明治17年)	二条離宮となる。
1893年	(明治26年)	桂宮御殿を移築し、本丸御殿とする。
1915年	(大正4年)	大正天皇の即位の礼が行われ大饗宴場を造営。
1939年	(昭和14年)	宮内省が二条離宮を京都市に下賜。
1940年	(昭和15年)	京都市が一般公開をはじめ。
1965年	(昭和40年)	角倉邸の一部を移築するなどし、清流園を造成。
1994年	(平成6年)	ユネスコの世界文化遺産に登録される。

# 二条城の概要

- ・ 二条城は1603年(慶長8年), 江戸幕府初代将軍徳川家康が, 天皇の住む京都御所の守護と将軍上洛の際の宿泊所とするため築城したものです。
- ・ 3代将軍家光の時代に, 大御所(先代)秀忠の意向により後水尾天皇行幸のために大規模な改修が行われました。壮麗な城に, 天皇を迎えることで, 江戸幕府の支配が安定したものであることを世に知らしめたのです。
- ・ 1634年(寛永11年)の家光上洛を最後に, 約230年間, 将軍が訪れることはなく, その間, 二条城は, 江戸からの派遣あるいは在地の武士によって守られていました。
- ・ 1867年(慶応3年)に15代将軍慶喜が二の丸御殿の大広間で「大政奉還」の意思を表明したことは日本史上あまりにも有名です。
- ・ 1884年(明治17年)に皇室の別邸として「二条離宮」となり, 1939年(昭和14年), 宮内省から京都市に下賜され, 翌年から一般公開が始まりました。
- ・ 1994年(平成6年), ユネスコ世界遺産に登録された二条城は, 徳川家の栄枯盛衰と日本の長い歴史を見つめてきた貴重な歴史遺産なのです。

# 二条城・城内MAP





写真・元離宮二条城事務所

## 【東大手門】 現在

二条城の正門にあたり、築城当時は現在のような櫓門(2階建て)でしたが、寛永の二条城行幸時には天皇を2階から見下ろさないようにとの配慮から、一層の門に建て替えられました。現存の門は再び櫓門に戻された1662年(寛文2年)頃の建築と考えられています。2014年(平成26年)～2016年(平成28年)に保存修理工事を行いました。

MAP1





写真・京都府立京都学・歴史館・デジタルアーカイブ  
大正大禮京都府記事関係写真材料

### 【東大手門】 1915年(大正4年)撮影

この写真が撮影された年に、大正大礼(大正天皇の即位礼と大嘗祭)における饗宴が二条離宮(当時の名称)でおこなわれました。写真は、皇族が馬車で饗宴場に向かっている様子です。

MAP1



写真・元離宮二条城事務所

## 【東南隅櫓】 現在

二条城の東南に位置する隅櫓です。見張り台として建てられ、普段は武器庫として使われていたとされています。南北に見られる千鳥破風が特徴的です。

MAP2



写真・京都府立京都学・歴史館・デジタルアーカイブ  
黒川翠山撮影写真資料

### 【東南隅櫓】 大正～昭和初期撮影

当時は二条城の東側には松がなく，堀端の生垣の高さは人の腰高程度でした。そのため北方多門堀・東大手門が一体的に見え，堀の水面を覗くことができました。

MAP2





## 【唐門】 現在

二の丸御殿の正門です。唐破風を備えることから「唐門」と呼ばれ、豪華絢爛な極彩色の彫刻で飾られています。2013年(平成25年)の保存修理工事によって、往時の美しさがよみがえりました。

MAP3



写真・国立国会図書館デジタルコレクション  
『京都仙洞御所・二条・桂・修学院離宮御写真及実測図集』第25集

**【唐門】** 1931年(昭和6年)以前撮影

建築当初、唐門の破風や梁の銙(かざり)金具は、徳川家の家紋、「葵紋」でしたが、二条城が離宮となった明治時代に、皇室の「菊紋」へと取り換えられました。

MAP3





## 【車寄】 現在

二の丸御殿の玄関で、左奥の遠侍と呼ばれる建物に繋がっています。  
欄間には牡丹に鳳凰，鶴，唐獅子の彫刻が施されています。

MAP4



写真・国立国会図書館デジタルコレクション  
『京都仙洞御所・二条・桂・修学院離宮御写真及実測図集』第25集

**【車寄】** 1931年(昭和6年)以前撮影

現在と比べると、車寄の右側、今は団体入口になっている所に塀があり、遠侍(左奥)の屋根部分には、離宮時代に三つ葉葵から取り替えられた菊紋の金具が付いていることが分かります。

MAP4





## 【大広間】 現在

大広間は将軍と大名や公卿衆との公式の対面所です。現在は、人形が置かれており、奥には将軍が、手前は諸大名が座っています。御殿内の貴重な障壁画を守るため、現在は模写に替わっており、原画は収蔵庫で保管されています。

MAP5



写真・国立国会図書館デジタルコレクション  
『京都仙洞御所・二条・桂・修学院離宮御写真及実測図集』第26集

**【大広間】** 1931年(昭和6年)以前撮影

現在と比べて、建物は、ほぼ変化がないように見えます。障壁画は江戸時代に描かれた原画がはまっています。

MAP5





写真・元離宮二条城事務所

## 【二の丸御殿・黒書院】 現在

二の丸庭園から黒書院の南側を見えています。黒書院は江戸時代には「小広間」と呼ばれ、将軍と徳川家に近い大名や高位の公家などが対面した場でありました。建物の手前には、蘇鉄(そてつ)が植えられています。

MAP6



写真：松戸市戸定歴史館提供

## 【二の丸御殿・黒書院】 幕末期撮影

幕末の頃の着色写真ですが、当時も黒書院の前には、蘇鉄(そてつ)が植わっており、また現在にはない背の高い樹木が見られます。

MAP6





## 【二の丸庭園】 現在

二の丸庭園は特別名勝に指定されており，池の北側，南側，東側の三方向からの鑑賞が想定されています。この写真は，池の東側から西向きに撮ったものです。

MAP7





写真：松戸市戸定歴史館提供

### 【二の丸庭園】 幕末期撮影

二の丸庭園を池の東側から西向きに撮った写真です。現在と比べると、築山に樹木がほとんどないことや、土塀が存在していたことがわかります。

MAP7



### 【本丸東橋】 現在

二の丸エリアから本丸エリアへの入口です。本丸は美しい内堀に囲まれており、本丸櫓門に通じる東橋を写しています。

MAP8



**【本丸東橋】** 1930年(昭和5年) 以前撮影

現在と大きく異なり，橋を渡る手前に，二階廊下があります。かつては，橋も二階廊下があり，行幸御殿，二の丸御殿と本丸御殿はこの二階廊下でつながっていました。



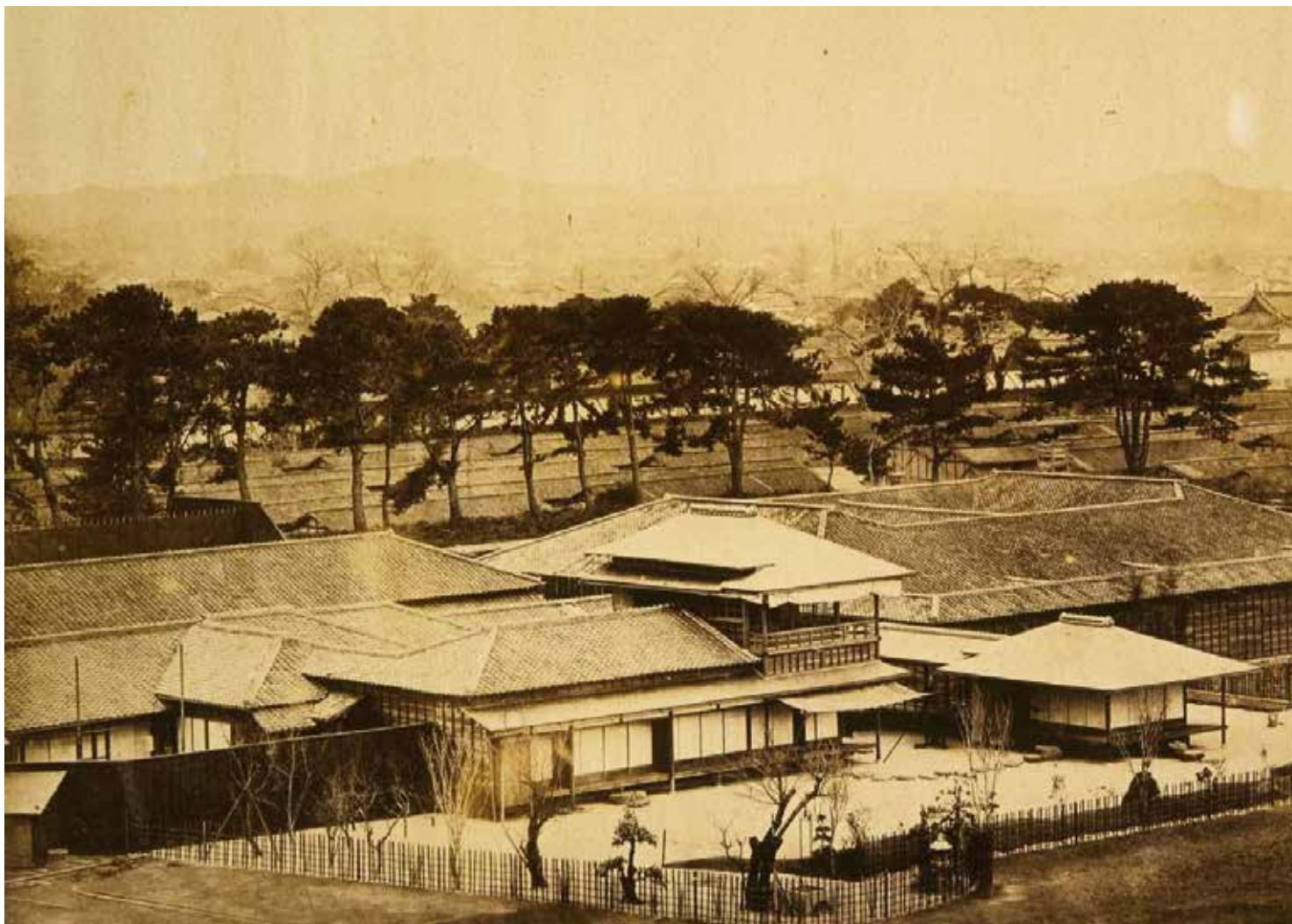


写真：元離宮二条城事務所

## 【本丸】 現在

1894年(明治27年)に御所の北にあった旧桂宮邸が本丸御殿として移築されました。1995年(平成7年)阪神淡路大震災により構造の歪みが生じ、今後も未来に継承し、文化財として安全に活用するために、2017年(平成29年度)から耐震補強を施す保存修理工事に着手しています。

MAP9



### 【本丸】 幕末期撮影

寛永期建造の本丸御殿焼失後，空地になっていた本丸エリアに，幕末時，将軍滞在用の仮御殿が建てられました。この写真は，徳川慶喜が写真師に撮らせたと思われます。この仮御殿は，1881年（明治14年）頃に取り壊されています。

MAP9





## 【西南隅櫓】 現在

美福通りから撮影した西南隅櫓です。城の西側を守備する要の櫓であり、東南隅櫓とともに、現存する櫓の一つです。東西に見られる唐破風が特徴的です。

MAP10





### 【西南隅櫓】 明治期撮影

城の西側は木や生垣があまりないため見通しが良く、また着物姿の人々も写っており当時の様子がうかがえます。1910年(明治43年)には京都初の映画撮影所「二条城撮影所」(※現・西南隅櫓の城外西方)が開設され、白黒無声映画「忠臣蔵」(尾上松之助主演)が撮影され、二条城を赤穂城に見立てたロケが行われました。

MAP10



写真：元離宮二条城事務所

## 【南門】 現在

江戸時代、二条城の門は東・西・北のみでした。南門は、大正大礼時に新築された二条城で最も新しい門です。

MAP11





写真・京都府立京都学・歴史館・デジタルアーカイブ  
大正大礼京都府記事関係写真材料

### 【南門】 1915年(大正4年) 撮影

新築された当時の南門の写真です。堀を渡るための橋が架けられていますが、大正大礼の後、この橋は撤去され、現在は門のみが残っています。

MAP11





## 【清流園】 現在

東半分は芝生を敷き詰めた洋風庭園，西半分は二棟の建物を含めた池泉回遊式庭園(和風庭園)からなる和洋折衷庭園で，1965年(昭和40年)に造営されました。写真は洋風庭園の様子です。



**【清流園】** 1964年(昭和39年) 以前撮影

現在、清流園となっているエリアには、1950年(昭和25年)にGHQの意向で第4回マッカーサー杯のためにテニスコートが作られ、その後は市民に開放され貸し出されていました。





## 【香雲亭】 現在

清流園の造成に際し，京都の豪商，角倉家の旧邸の一部が移築され，「香雲亭」と名付けられました。通常，内部は非公開ですが，期間限定で食事の提供を行ったり，結婚式の挙式場として活用されています。





**【香雲亭】** 1964年(昭和39年)以前撮影

明治維新以降，河原町二条の角倉邸は京都府の所管となり，織物技術伝習所として利用されました。その後，所有者が変遷し，1964年(昭和39年)に同地に日本銀行庁舎が建てられるにあたり，二条城に移築されました。写真は，移築される前のものです。



## 【北大手門】 現在

北大手門と竹屋町通りを撮影した写真です。北大手門は、東大手門と同じ2階建ての櫓門です。城の北側にあった京都所司代との往来に使用されたと考えられます。





写真・京都府立京都学・歴史館・デジタルアーカイブ  
大正大礼京都府記事関係写真材料

### 【北大手門】 1915年(大正4年) 撮影

大正大礼時に撮影された写真です。通りを往来する人々とともに、北大手門付近に人々が列をつくり、二条城内に造られた饗宴場の見学を訪れている様子が写っています。生垣や樹木がないため門ははっきりと見えています。

MAP14





## 【二条城東側】 現在

二条城の東大手門付近から東側を撮影した写真です。現在はHOTEL THE MITSUI KYOTO(左), ANAクラウンプラザホテル京都(右)が東大手門入口から見えます。



**【二条城東側】** 2009年1月撮影

2014年(平成26年)に営業を終了した京都国際ホテル(左)と, ANAクラウンプラザホテル京都(右)が見えます。手前は駐車場になっていますが, 2016年(平成28年)に整備を行い, 現在の状況になりました。